



岐阜県 飛騨ミート農業協同組合連合会コンソーシアム 『日本有数のブランド和牛「飛騨牛」を世界へ』

【主な品目】

牛肉

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、EU、香港等

【輸出取組の概要】

- ◆ 農家の所得向上を目的に、平成20年の香港への輸出を皮切りにEU、米国等へ輸出を開始。現在は12の国・地域へ輸出。
- ◆ 品質国際規格ISO9001、食品安全国際規格ISO22000、食品安全認証規格FSSC 22000により、高度な衛生管理を確立し牛部分肉賞味期限の延長(4℃保管100日)など「安全」で「高品質」な食肉を提供する体制を構築。
- ◆ 令和7年12月にフラッグシップ輸出産地として農林水産大臣認定。



飛騨牛



輸出食肉処理認定施設

【輸出実績】

	輸出額(千円)	出荷時期
令和6年度	433,256	通年
令和2年度	365,876	

【取り組む際に生じた課題】

- ・食肉処理施設の認定取得など輸出先国の規制に対応するとともに、高品質な牛肉生産のための細やかな肉用牛の飼養管理、輸出先国が求めるアニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の取り扱い、厳しい食中毒菌管理などが必要。
- ・海外における認知度が低いので海外市場での飛騨牛ブランドの確立と認知度向上の取り組みが必要。

【生じた課題への対応】

- ・アメリカ、EU、香港など、合計19の国・地域の食肉処理施設認定を取得。血斑発生低減に向けた試験的取り組み、輸出先国が求めるアニマルウェルフェア対応、食中毒菌の管理体制の構築を実施。
- ・輸出時や現地プロモーションの際、日本語、英語、フランス語、繁体字のPR用資材を配布。海外バイヤーやレストラン関係者の産地招へいや現地プロモーションの際に使用する、産地紹介DVDや素材用画像・動画を作成。

【取組の効果】

- ・アジア向けから輸出を開始し、現在ではアメリカ、EU、オーストラリアなど多数の国・地域に輸出を拡大。
- ・積極的なプロモーションにより、高品質和牛としての認知度を高め、富裕層向け高級店への販売を実現。

【今後の展望】

- ・高品質和牛としてのブランドを確立し、EU、アメリカ等への更なる輸出拡大。